

# あなたの声を これからの まちづくりに！

第6次総合計画の見直しについて	3
まちが直面する主な課題	5
議会の活動状況について	6
議員のなり手問題について	9

栗山町民（以下「町民」という。）から選挙で選ばれた議員により構成される栗山町議会（以下「議会」という。）は、同じく町民から選挙で選ばれた栗山町長（以下「町長」という。）とともに、栗山町の代表機関を構成する。この2つの代表機関は、ともに町民の信託に応える活動し、議会は多数による合議制の機関として、また町長は独任制の機関として、それぞれの異なる特性をいかして、町民の意思を町政に的確に反映させるために競い合い、協力し合いながら、栗山町としての最良の意思決定を導く共通の使命が課せられている。

議会が町民の代表機関として、地域における民主主義の発展と町民福祉の向上のために果たすべき役割は、将来にかけてますます大きくなる。特に地方分権の時代を迎えて、自治体の自主的な決定と責任の範囲が拡大した今日、議会は、その持てる権能を十分に駆使して、自治体事務の立案、決定、執行、評価における論点、争点を広く町民に明らかにする責務を有している。自由かつ達な討議をとおして、これら論点、争点を発見、公開することは討論の広場である議会の第一の使命である。

このような使命を達成するために本条例を制定する。われわれは、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法律」という。）が定める概括的な規定の遵守とともに、積極的な情報の創造と公開、政策活動への多様な町民参加の推進、議員間の自由な討議の展開、町長等の行政機関との持続的な緊張の保持、議員の自己研さんと資質の向上、公正性と透明性の確保、議会活動を支える体制の整備等について、この条例に定める議会としての独自の議会運営のルールを遵守し、実践することにより、町民に信頼され、存在感のある、豊かな議会を築きたいと思う。

栗山町議会基本条例前文  
平成18年5月18日制定

# 第6次総合計画の見直しについて（1）

## まちづくりの基本理念

- ①情報共有のまちづくり
- ②町民参加のまちづくり
- ③連携・協働のまちづくり
- ④持続可能な自律したまちづくり

## まちづくりの合言葉

ふるさととは栗山です。

（まちづくりの合言葉）

## まちの将来像

誰もが笑顔で、安心して暮らす  
まち

（まちの将来像）

# 第6次総合計画の見直しについて（2）

## 重点プロジェクト

- ①子どもたちの笑顔が輝くまち【若者定住対策】  
**「子育てするなら栗山で」と、若者世代から選択されるまちづくり**
- ②生涯を自分らしく暮らすまち【健康寿命延伸】  
**町民の健康意識を高め、元気高齢者が活躍するまちづくり**
- ③人と自然が共生するまち【自然環境保全・再生】  
**豊かな自然・里山環境を守り、次世代につなぐまちづくり**
- ④地域の潜在力を活かすまち【産業活性化対策】  
**農業基盤を活かした交流人口拡大と、雇用・産業創出のまちづくり**

（別紙資料をご覧ください）

# まちが直面する主な課題

## 1. スキー場の存続

- ・ 昭和46年完成
- ・ 昭和48年リフト設置(45年経過)
- ・ リフトの基礎及び支柱の劣化が著しく使用が困難
- ・ 利用状況 H25:52,826人 H26:51,480人  
H27:32,377人 H28 44,096人  
H29:27,639人

## 2. 日赤の改築

- ・ 深刻な医師不足。医師確保が困難な状況
- ・ 建物の老朽化(昭和55年建築、築38年)
- ・ 耐震化問題
- ・ 栗山町にあった診療体制とは

## 3. 介護福祉学校の存続

- ・ 入学生の推移(定員80名)  
H24:56人 H25:79人  
H26:54人 H27:39人  
H28:42人 H29:41人  
H30:36人
- ・ 授業料2年間総額 123万円/人
- ・ 町負担(繰出金) 約6千万円

## 4. 駅周辺・商店街の活性化

- ・ 栗山町の玄関口としての美観形成
- ・ 商店街の衰退
- ・ 駅周辺の賑わいづくり
- 【店舗数の推移】  
最盛期：約250店舗(昭和43年頃)  
現在：約90店舗

## 5. 栗高の存続

- ・ 1年生(52人)  
2年生(55人)  
3年生(61人)
- ・ 男子93人・女子75人  
計168人  
(平成30年4月6日現在)
- ・ 各種資格取得に対する支援を実施。前期4年間で計53万円延べ500人に支援

# 議会の活動状況（会議日数・出欠状況）

（平成30年1月～12月）

会議名	本会議		常任委員会				議会運営委員会	特別委員会			その他			合計			
	定例会	臨時会	総務教育	産業福祉	広報広聴	（小委員会） 広報広聴		予算審査	決算審査	中長期財政 問題等調査	議会改革 推進会議	議会報告会	一般会議	会議日数	出席日数	欠席日数	出席率
開催日数	12	2	8	7	5	14	9	3	3	3	2	5	4				
大西 勝博	12	2	8	7	5	—	—	3	3	3	2	5	4	54	54	0	100.0%
友成 克司	12	2	8	—	5	—	9	3	3	3	—	5	4	54	49	5	90.7%
檜崎 忠彦	12	2	—	7	5	—	9	3	3	3	2	5	4	55	55	0	100.0%
佐藤 則男	12	2	—	7	5	14	—	3	3	3	—	5	4	58	58	0	100.0%
重山 雅世	12	2	—	7	5	14	9	3	3	3	2	5	4	69	69	0	100.0%
置田 武司	12	2	8	—	5	—	—	3	3	3	—	5	4	45	40	4	88.9%
大井 賢治	12	2	—	7	5	14	—	3	—	3	—	5	4	55	55	0	100.0%
千葉 清己	12	2	8	—	5	14	—	3	3	3	2	5	4	61	61	0	100.0%
土井 道子	12	2	8	—	5	14	—	3	3	3	—	5	4	59	57	2	96.6%
三田 源幸	12	2	8	—	5	14	9	3	3	3	2	5	4	70	70	0	100.0%
藤本 光行	12	2	—	7	5	—	9	3	3	3	2	5	4	55	55	0	100.0%
鵜川 和彦	12	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	5	4	22	22	0	100.0%

# 議会の活動状況（常任委員会）

## ■産業福祉常任委員会

「ごみ処理の実態について」

- ・ごみ処理事業の実績について  
ごみ排出量、外部委託の処理、最終処分場埋立等の実績について
- ・道央廃棄物処理組合事業の進捗状況について

「建設事業の実態について」

- ・工事請負契約について
- ・現地視察  
曙団地建築工事、ふれあいプラザ周辺整備工事、鳩山橋補修工事、杵臼本線道路改良工事、防災備蓄庫新築工事

「介護・医療の実態について」

- ・栗山町の医療環境整備を検討する町民委員会の提言及び提言に対する対応方針（回答）について
- ・栗山赤十字病院改築等検討委員会（仮称）の設置構想について

## ■総務教育常任委員会

「北海道介護福祉学校の現状等について」

- ・運営状況及びあり方検討委員会答申について
- ・一般会議（意見交換）：町内介護事業所（6事業所）  
：学校教職員（8名）

「地域おこし協力隊の活動状況について」

- ・活動状況について
- ・カフェ&バー視察及び協力隊員と意見交換

## ■広報広聴常任委員会

「議会の広報誌の編集及び発行について」

- ・議会広報研修会（札幌市）
- ・第155～158号の発行について（年4回発行）

「議会広聴の実施について」

- ・議会報告会資料作成委員会
- ・出前議会報告会
- ・議会報告会（12会場）

# 政務活動費を活用した研修報告

議員名	調査研究費及び研修費の内容（平成30年4月～12月）
大西	①7/10～7/12 東京都 全国地方議会サミット2018 ②8/23～24 札幌市 地方議員サマースクール ③9/29 札幌市 議会技術研究会オータム・セミナー
友成	①福岡県みやま市・大刀洗市・上毛町 先進地視察（エネルギーの地産地消ほか）
檜崎	①5/10～11 東京都 地方議員研究会「インフラ老朽化問題」 ②7/12～14 訓子府町 第23回自治体フォーラム「小さいからこそできる創造的地域づくり」 ③8/21 市町村議会議員研修会in北海道 ④8/23 札幌市 地方議員サマースクール
佐藤	①7/10～12 東京都 全国地方議会サミット2018
重山	①7/12～14 訓子府町 第23回自治体フォーラム「小さいからこそできる創造的地域づくり」 ②11/12～13 市町村議会議員研修会in長野 ③福岡県みやま市・大刀洗市・上毛町 先進地視察（エネルギーの地産地消ほか）
置田	①7/12～14 訓子府町 第23回自治体フォーラム「小さいからこそできる創造的地域づくり」 ②福岡県みやま市・大刀洗市・上毛町 先進地視察（エネルギーの地産地消ほか）
大井	①7/10～7/12 東京都 全国地方議会サミット2018
千葉	①5/10～11 東京都 地方議員研究会「インフラ老朽化問題」 ②7/10～7/12 東京都 全国地方議会サミット2018 ③7/24～7/27 全国地方議員交流研修会in東北 ④早稲田大学・地方議員研究会共催セミナー「人口減少社会における発想の転換」
土井	①7/10～7/12 東京都 全国地方議会サミット2018 ②12/16～17 東京都 地方議員研究会「医療保険制度の財源と給付」ほか
三田	①7/10～7/12 東京都 全国地方議会サミット2018
藤本	①7/10～7/12 東京都 全国地方議会サミット2018
鵜川	①4/13 札幌市 公共施設総合管理計画策定後の次のステップ（実践）のためのセミナー ②7/10～7/12 東京都 全国地方議会サミット2018 ③8/23～24 札幌市 地方議員サマースクール

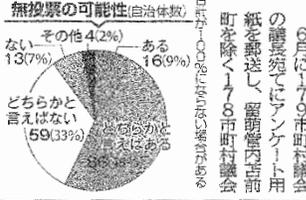
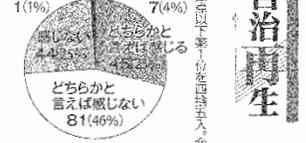
# 「議員欠員の不安」3割

## 次回選挙「無投票の恐れ」6割

### 全道市町村議長調査

北海道新聞は来春の統一地方選に向けて、道内179市町村議会の議長を対象にアンケートを実施し、約3割に当たる52市町村の議長が、次回の議会選挙で立候補者が定数に満たず欠員が生じる不安があると答えた。立候補者が定数と同じで無投票になる可能性についても「ある」「どちらかと言えはる」と答えた議長が約6割の103市町村に上り、議員のなり手不足の深刻さが浮き彫りになった。（3面＝待選改選版）

### 自治再生



6月に179市町村議会の議長宛てにアンケート用紙を郵送し、留明管内吉野町を除く178市町村議会が返答した。議長から回答を得た。次回選挙で欠員が生じる不安を感じているかを聞いた質問で、「感じる」と答えたのは空知管内浦臼町、オホーツク管内雄武町など7町で、「どちらかと言えはる」は空知市、深川市など4市町村に上った。無投票になる「可能性がある」としたのは夕張市など16市町村で、このうち12市町村が前回選挙は無投票だった。「どちらかと言えはる」は稚内、歌内、滝川などの5市を含む86市町村。各市町村議会の前回選挙で無投票だったのは51市町村。十勝管内浦幌町は2015年の前回選挙で定数割れとなり、雄武町、上川

管内占冠村、十勝管内中札内村は議員の辞職に伴い補欠選挙を行ったが、定数を満たさず欠員のまま。一方、北海道新聞が14年に全市町村議会を対象に実施したアンケートで、議員の平均年齢が65歳以上の議会は41市町村だったが、今回は78市町村に上った。平均年齢が50代は38から30に減少し、60代は140のまま、70代は1から40に増えた。平均年齢が最も高い議会は釧路市内上ノ国町の74歳。最も低いのは網走市の51歳だった。（村田亮、高橋澄恵）

# 議員のなり手問題

議員のなり手問題が全国的な問題となっています。平成29年の高知県大川村（人口約400人）で村長が議員のなり手を懸念し、町村総会について調査研究する発言が報道により拡大して全国に発信され、国や全国の自治体議会を巻き込む大きな問題としてクローズアップされるようになりました。

本町でも前回の町議会議員選挙では、定数を1人減の12人として臨みましたが、結果は無投票となりました。昭和62年から平成27年までの8回の町議会議員選挙（補欠選挙を除く）のうち、無投票となったのは平成7年と同27年の2回だけです。

町議会議員選挙が4月に迫りましたが、なり手問題に対する町民の皆さんのご意見をお聞かせください。

# 町議会議員定数と選挙結果の推移

改選年	平成27年	平成23年	平成19年	平成15年	平成11年	平成7年	平成3年	昭和62年
人口	12,502人	13,326人	14,120人	14,799人	15,436人	15,604人	16,159人	16,871人
定数	12人	13人	13人	18人	20人	22人	22人	22人
立候補者数	12人	15人	15人	21人	23人	22人	23人	24人
有権者数	—	11,202人	11,740人	12,086人	12,350人	—	12,055人	12,159人
投票者数	—	8,040人	9,038人	9,741人	10,311人	—	10,620人	10,939人
投票率	—	71.77%	76.98%	80.60%	83.49%	—	88.10%	89.97%
有効投票数	無投票	7,975人	8,982人	9,697人	10,213人	無投票	10,558人	10,885人
人口1,000人あたり議員数	0.96人	0.98人	0.92人	1.22人	1.30人	1.41人	1.36人	1.30人
最高得票数	—	1,038票	928票	786票	838票	—	713票	582票
最低得票数	—	409票	457票	323票	285票	—	286票	265票

# 類似規模自治体議会との比較

団体名	人口	定数	人口 1000人 当たり 議員数	報酬						政務 活動費	付議 事件数	会議日数（本会議・委員会）				
				議長	副議長	議員	常任 委員長	議運 委員長	町村長			本会議	常任委員 会（閉会 中）	議会運営 委員会 （閉会中）	特別委員 会（閉会 中）	合計
栗山町	12,147	12	0.99	300,000	239,000	196,000	212,000	212,000	794,700	20,000	111	19	11	4	0	34
岩内町	13,034	16	1.23	282,000	226,000	185,000	202,000	202,000	685,000		94	25	23	6	4	58
長沼町	11,105	14	1.26	298,000	237,000	193,000	209,000	209,000	750,600	8,000	67	15	8	4	16	43
東神楽町	10,364	12	1.16	242,000	189,000	163,000	172,000	172,000	700,000	6,667	88	13	15	6	0	34
美瑛町	10,260	14	1.36	300,000	240,000	200,000	210,000	210,000	810,000		98	17	17	12	6	52
上富良野町	10,982	14	1.27	275,000	205,000	170,000	185,000	185,000	720,000		124	12	19	9	20	60
斜里町	11,797	14	1.19	291,000	234,000	190,000	213,000	213,000	770,000		110	18	25	6	5	54
日高町	12,420	15	1.21	252,000	207,000	189,000	194,000	194,000	720,000		146	33	0	0	0	33
浦河町	12,696	18	1.42	255,000	203,000	175,000	184,000	184,000	700,000		95	15	23	8	14	60

※第63回北海道町村議会実態調査集計表より（平成29年1月1日～12月31日における実績値）